

償却資産申告書の「書き方」

1 住所
郵便番号、住所(ビル名、階数、部屋番号まで)、電話番号をお書きください。
○個人の方…所有者の住所をお書きください。
○法人の方…本店所在地をお書きください。なお、本店以外に納税通知書等の送付を希望される場合は、その住所を()書きで併記してください。
○共有名義の方…代表者の住所をお書きください。

2 氏名
○個人の方…氏名、ふりがなをお書きください。また屋号がある場合はお書きください。
○法人の方…法人名、代表者名、ふりがな、屋号等をお書きください。
○共有名義の方…「代表者外○名」とお書きください。

資産の種類
償却資産の取得価額について、表の内容に応じて合計を書き入れてください。
○前年前に取得したもの…昨年度の申告の「計(ニ)」欄の数値になります。(初めての申告時は空白)
○前年中に減少したもの…前年中に売却や廃棄を行った等で無くなった資産のことで。す。
○前年中に取得したもの…前年中に購入や譲渡を受ける等で増えた資産のことで。す。

申告書の提出年月日を記入してください。 令和 5 年 1 月 10 日

申告年度を記入してください。 令和 5 年度

3 個人番号又は法人番号
マイナンバーを記入してください。
(個人12桁、法人13桁)
※平成28年度申告書の様式から追加された項目です。

4 事業種目
具体的な事業の内容をお書きください。
2以上の事業を行っている場合は、主たる事業をお書きください。
法人の場合は資本金または出資金の額もお書きください。

8 短縮耐用年数の承認
9 増加償却の届出
耐用年数の短縮の承認を受けた方、増加償却の提出をされた方はその写しを添付してください。

10 非課税該当資産
11 課税標準の特例
この冊子の10ページをご覧ください。

15 市内における事業所等資産の所在地
16 借用資産
17 事業所用家屋の所有区分
18 備考(添付書類等)

※所有者コード
ここは書く必要はありません。

押印は必要ありません。

資産の種類	取				得				価				額			
	前年前に取得したもの(イ)				前年中に減少したもの(ロ)				前年中に取得したもの(ハ)				計((イ)-(ロ)+(ハ))(ニ)			
	十億	百万	千	円	十億	百万	千	円	十億	百万	千	円	十億	百万	千	円
1 構 築 物		3	791	000									3	791	000	
2 機 械 及 び 装 置		10	493	000									10	493	000	
3 船 舶																
4 航 空 機																
5 車 両 及 び 運 搬 具																
6 工 具 、 器 具 及 び 備 品		1	220	970			577	290						643	680	
7 合 計		15	504	970			577	290					14	927	680	

※記載上の留意点
○印字している内容に変更がある場合は、抹消線を引き、余白に正しい
○初めて申告される方は、「前年前に取得したもの(イ)」、「前年中」
※「償却資産申告書」は国東市ホームページからダウンロードできます。

内容は書き入れてください。
に減少したもの(ロ)」欄は『空白』になります。
<http://www.city.kunisaki.oita.jp/soshiki/zeimu/syokyakushisan05.html>

前年度申告から資産内容の変更の無い方へ
この「18 備考」欄に『資産内容の変更なし』とお書きの上、
「1 住所」「2 氏名」「3 個人番号又は法人番号」欄に必要事項を記載いただくだけでも構いません。

第二十六号様式(提出用)

15 市内における事業所等資産の所在地
国東市内における事業所等償却資産の所在地をお書きください。2以上の所在地がある場合には、主な所在地の番号に○を付けてください。

16 借用資産
借用(リース)資産の有無について該当する方に○をつけてください。
「有」の方は貸主の名称、電話番号等をお書きください。

18 備考(添付書類等)
添付した書類の名称や納税管理人の住所・氏名、その他この申告に必要な事項等についてお書きください。

種類別明細書の「書き方」

(上段：増加・全資産、 下段：減少資産)

青色申告をされている方へ
 税務署に提出される『所得税青色申告決算書』の表のうち『○減価償却費の計算』で用いた「減価償却資産の名称等」「面積又は数量」「取得年月」「取得価額」「耐用年数」の内容と基本的には一致します。

増加資産のみを申告する場合は「増加資産」、全資産を申告する場合は「全資産」に○を付けてください。

所有者名を記載してください。

ここは書く必要はありません。

種類別明細書(増加資産・全資産用)

行番号	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月			取得価額				耐用年数	減価残存率	価額				課税標準の特例	課税標準額	増加事由	摘要
					年号	年	月	取得価額						価額							
								十億	百万	千	円			十億	百万	千	円				
01	1		駐車場舗装	1	4	16	3	2	216	000	10	0.794							1.2 3.4		
02	2		機械設備	1	4	20	8	900	000	10	0.794								1.2 3.4		
03	2		機械設備(改良費)	1	4	29	5	296	000	10	0.794								1.2 3.4	前年度申告漏れ	
04	6		商品陳列棚	1	4	22	3	955	500	8	0.750								1.2 3.4		
05	6		レジスター	1	4	22	3	(127)	470	5	0.631								1.2 3.4	取得価額の訂正あり	
06	6		パソコン	1	4	30	6	138	000	4	0.781								1.2 3.4	取得月の訂正あり	
07	1		太陽光発電設備ネットフェンス(設置工事費含む)	1	5	1	(8)	1	575	000	10	0.794							1.2 3.4		
08	2		太陽光発電設備システム・第1発電所(設置工事費含む)	1	5	1	8	4	700	000	17	0.873							1.2 3.4		
09	2		太陽光発電設備システム・第2発電所(設置工事費含む)	1	5	2	8	3	597	000	17	0.936							1.2 3.4		
20			小計					15	504	970											

ここは書く必要はありません。

数量が複数の場合も全体額を記入。

申告漏れ資産を、初めて申告する場合は「摘要」欄にその旨記載してください。

以前、申告した内容が間違っていたときは()書きで記入してください。また「摘要」欄にその旨を記載してください。

増加事由
 1…新品取得
 2…中古品取得
 3…移動による受入れ
 4…その他
 に○を付けて下さい。

資産の種類
 1…構築物、2…機械及び装置、3…船舶、4…航空機、5…車両及び運搬具、6…工具、器具及び備品

年号(取得年月)
 令和…「5」、平成…「4」、昭和…「3」と記載してください。

取得価額
 資産を取得するため支出した経費の額(送料や工事費等含む)を記載してください。

所有者名を記載してください。

行番号	資産の種類	抹消コード	資産の名称等	数量	取得年月			取得価額				耐用年数	申告年度	減少の事由及び区分				摘要
					年号	年	月	取得価額						減少の事由及び区分				
								十億	百万	千	円			1 売却	2 減失	3 移動	4 その他	
01	6		パソコン	1	5	4	3	104	790	4	5	1	2	3	4	1	2	廃棄
02	6		応接セット	1	5	4	3	472	500	8	5	1	2	3	4	1	2	〇〇社に譲渡
03												1	2	3	4	1	2	
20			小計					577	290									

ここは書く必要はありません。

ここは書く必要はありません。

減少の事由及び区分
資産減少の理由
 1…売却 2…減失
 3…移動 4…その他
減少資産は
 1…全部 2…一部
 当てはまる番号に○を付けて下さい。

何か特筆すべき事項がありましたら「摘要」欄にその旨記載してください。